

岡山県

せいきょう連 ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL: 086-221-4301



陽春の国分寺(総社市)

エッセイ



おかやまコープ理事長
三橋 幸夫(県生協連副会長理事)

出番を迎えた生協

金融破綻から始まった世界同時不況が深刻さを増しています。年収200万円未満の人が1千万人を超したといわれるなど格差を一層際立たせています。生協が本当にくらしに貢献できるかが問われているときだと思います。しかし、供給は前年を割り込み、いまだ回復の兆しが見通せない状況が続いている。

12月にハノイで開かれたICA(国際協同組合同盟)のアジア・太平洋地域総会の声明では「協同組合は…組合員の出資金に依拠しており」「事業の成長を計画する際に質素で現実的であり…扱いやすいコスト管理と目標を持っているので回復力が大きい」と指摘しています。その回復力を発揮できずにいるのは、理念と組織特性を現実の事業に具体化できる力量が不足していること、事業力量が弱いことにあります。人間の尊厳を無視した金融資本主義への反省が広がっている中で、生協のような自主経済体・協同組織が光輝かないと人類の行く末が見えなくなってしまいます。

5日にオバマ大統領がプラハ声明で「核兵器のない平和で安全な社会」をめざす包括戦略を発表しました。これもさまざまな格差と対立を生み出した、行き過ぎた資本主義の反省の一環だと思います。

4月から始まった新しい年度は、生協運動に関わる全ての人が出番を迎えています。理念への確信のもとで実現力を発揮しましょう。

2009…1月以降のおもな取り組み

●県連・単協役員研修交流会を開催【1月7日(水) オルガホール 参加者は講演会に62名】

県生協連会長理事の開会挨拶について、岡山県生活環境部県民生活課長の肥塚 秀文氏にご挨拶をいただきました。



挨拶される肥塚課長

今回は、講演Ⅰとして、日本生協連常務理事 芳賀 唯史 氏に「日本の生協のこれから」～幹部職員に期待されること～と題して講話いただきました。

新しい生協法のもとで生協が持続発展し、社会的役割と責任を果たしていくことの意義、事業者(生産者)と消費者の信頼関係をつくっていくことの大切さを述べられました。

「生協の原点、そこに立ち返って活動することの大切さ、今日的意義を改めて考えさせられました」・・・講演後、参加者の感想です。

これから、さまざまな立場、環境のもとで、生協運動に携わっていく私たちに、貴重な示唆と問題を提起していただきました。



生協の理念…今、あらためて…と芳賀常務



“ウッタテ”も方言と青山さん

後半は、地域生活情報誌「オセラ」編集長 青山 融氏より「岡山弁 再発見!」と題してのお話し。

方言の地域性、法則性の解析とともに、映画「釣りバカ日誌」のロケ現場での方言指導の様子など、漫談風の講話に会場は大いに沸きました。

何かと厳しい年明けに、「私にとっての初笑

い、良い年明けになりました」・・・と、ある参加者の弁。

●組合員活動交流集会【1月27日(火) 10:00～12:30 オルガホール 11生協 243名の参加】



家計簿をつける…その効果は?と いちのせさん↑

講師に「いちのせ かつみさん（生活経済ジャーナリスト・ファイソシャルプランナー）を迎えて、「金融危機で 私たちの生活はどう変わる?」と題してのお話し。



また、県金融広報委員会の内野 敏行（日銀岡山支店次長）さんには、金融広報委員会が行なっていることや役割などについてお話ししていただきました。

← お声があれば、どこへでも…と内野さん



県労済生協…「生活保障設計運動」



おかやまコープ…LPA の会



医療生協(岡山・倉敷・津山)…寸劇風景

《寄せられた感想の中から》

講演では、生き方、お金に対する基本的な考え方を話してもらったと思う。軽妙な語り口でわかりやすい内容でした。お金の使い道として必要な時は使い、家計簿をつけ、ムダなものは削る。わかっているけど、なるほどと考えさせる内容でした。これからの買い物は、「欲しい」ではなく「必要なのか」を考えたいと思う。今夜、さっそく家族会議です。

金融広報委員会を初めて知った。幼稚園からお金の大切さ、物を大事にすることを教えていく活動は大事なことだと思う。

全体を通して、生活の厳しい中で、暮らしを見つめ直し、お金を考える上で良い企画でした。限られたお金を上手に使う当たり前のことだが、改めて見直していきたい。家計簿、いつも途中やめでしたが、これから、つけ始めようと決心した。

…交流・懇談・学習・研修

●石井 正弘岡山県知事と懇談【2月16日(月)10時30分～11時00分 岡山県庁 知事室】

懇談には、県生協連の会長・副会長(安場・中原・三橋)並びに女性理事3名(吉田・和泉・山内)が出席しました。



厳しい県財政ながらも安全・安心は削れない…と石井知事

初めに、県生協連会長より、「現在、国の第二次補正予算に組み入れられている『地方消費者行政活性化交付金』について、消費生活相談員の養成、専門家との提携等のしくみや業務環境の改善に向けて、県生協連など消費者団体が県に要望している。このチャンスに岡山県としても消費者行政の充実・強化を図ってほしい」旨発言があり、続いて参加者より単協の活動状況を中心に発言がありました。

主な内容

食の安全に関して、特に「冷凍餃子」事件以降の日生協の品質保証体系の再構築とおかやまコープの食品防衛・防犯対策、消費者啓発・食育等の取り組み。循環型農業を指向した牛乳のリニューアルなど産消提携に取り組んでいること。(おかやまコープ)

商品・福祉・環境・子育てひろば・チャリティバザーなどに取り組んでいる家庭会の活動(三井造船生協)

昨年開設した『さくらんぼ助産院』の利用が増えている。「認知症サポーター」制度に取り組んでいる。非正規雇用「派遣切り」が深刻化する中で、住まい・健康保険等生活相談窓口を設けている。居住を開設している。(倉敷医療生協)

休耕田が増えている、有効な活用方法はないか(三井造船生協)。

「おぎゅっと21」の取り組みに参加しているが、親子にとって楽しく、いい経験交流の場になっている。「ももっこカード」の要望・期待は大きいので活用範囲を広げたい(おかやまコープ)

などの発言があり、飼料米の作付け、高齢化・担い手問題などにも関わること、「ももっこカード」は、学校などへ広く普及を、「子育て支援」の活動は、事業の面と組合員の自主的な取り組みと組合せられることが大事などの意見がだされました。

最後に、知事より、県財政は厳しいが、「安全・安心」に関わることは、削減対象にはならない、守っていかなくてはいけないもの、との言葉がありました。

●県民生活課との定期懇談会【2月17日(火) 10時～11時30分 日生ビル8階会議室】



三宅 進参与のご挨拶→

岡山県より、生活環境部 消費者行政担当 三宅進参与・県民生活課 肥塚秀文課長・近藤理恵主任のご出席をいただき、県生協連からは、役員など14名が出席、会員生協の取り組み状況の報告と昨年10月17日に提出していた県への「要望書」に対する回答を中心に質疑、意見交換を行いました。



会員生協の取り組み報告

- ・家庭会、商品、福祉、環境(三井造船生協)
- ・デイサービス3号館開設、食の安全、地産地消、国際貢献、環境(おかやまコープ)
- ・対話大運動、認知症サポーター養成、自治体との懇談会、全国健康づくり学会(岡山医療)
- ・さくらんぼ助産院、おせち料理作り、医師不足、派遣切り問題(倉敷医療)
- ・保障の見直し、創立50周年記念事業(県労済)
- ・学生委員会の活動、学内のカードの1本化、店舗の新設(岡山大学)
- ・食の安全、ファームステイ(リソコ-フ)

「要望事項」に対しては文書で回答があり、以下の補足がありました。

- ・地方消費者行政活性化交付金は人件費や従来事業には充当できないので、現在検討中である。
- ・消費者団体訴訟制度に関して、悪質業者への行政処分については、被害者(高齢者等)への聞き取り等を行うが、被害状況をつかみきれないため、難しい。
- ・レジ袋削減については、全体ですすめていくことが大切だと思っている。



・・・消費者行政の充実強化を求めて 国会の今・・・

消費者庁設置へ・・・早ければ今秋にも発足！

～「消費者の権利」を明記、監視機関を「消費者委員会」とし権限強化へ～

衆議院の「消費者問題特別委員会理事会」で協議されていた消費者庁設置関連法案が、4月14日、政府案を修正することで合意。4月17日には衆議院本会議で全会一致可決することが確実になりました。

この間の協議の最大の焦点は、監視機関の権限・機能の強化問題でしたが、以下の内容で合意にいたったものです。

これまで、県生協連は、全国の消費者団体や弁護士などで構成する「ユニカねっと」等からの情報提供をもとに、国会での協議動向を見守りながら、各党各会派が知恵を持ち寄り、消費者の立場で機能する法律に仕上げるよう要望してきました。今回の「合意」は、各党各会派がこれを真摯に受け止め、精力的に協議された結果であると高く評価し、敬意を表するものです。

消費者行政新組織に関する与野党協議での修正合意事項

○消費者庁

1. 設置法第3条（任務）に消費者の権利を明記する。

○消費者政策委員会

2. 消費者政策委員会は「消費者委員会」とし、消費者庁設置法を「消費者庁及び消費者委員会設置法」に修正する。
(設置法6条1項)
3. 委員長及び委員は独立して職権行使する旨を規定し、委員は10名以内とする。
(設置法7条)
4. 委員会の権限強化として、各大臣等に対する報告徴求、資料提出要求を規定。
(設置法8条)
5. 内閣総理大臣等に対する勧告・建議を規定する。
6. 委員長や委員はすべて民間から登用する。(運用)
7. 事務局長他枢要な職員は民間から登用する。(運用)
8. 積極的情報開示を記す。(安全法4条3項)

○消費者安全法

9. 消費者教育に言及する。(安全法4条6項)
10. 情報の集約・分析結果の公表は、「結果の概要」ではなく「結果（そのもの）」とする。(13条3項)
11. 国会報告を定める。(13条4項)
12. 関係行政機関の協力に、「その他必要な協力」の表現を加える。(14条1項)
13. 消費者庁設置法第5条も上記と併せる。

○消費者政策担当大臣

14. 担当大臣の事務規定について内閣府設置法第4条第1項に規定し、勧告権限を発動しやすくする。

○附則で書き加える事項

15. 所管法律と体制整備について施行3年以内の見直しを附則で加える。
16. 地方消費生活センターの位置づけ、および人員配置や国の支援のあり方を3年以内に法改正を含めて全般的に検討する。
17. 適格消費者団体に対する支援のあり方について、3年以内に見直し。
18. 多数の被害者に対する不当な収益はく奪、加害者の財産散逸防止などを3年を目途に検討し、必要な措置を講ずる。
19. 財産被害を含め、重大事故の範囲について3年以内に検討。
20. 消費者委員会の委員について、2年以内の常勤化をはかることを検討する。

○与野党合意事項

21. 初代の消費者委員会の委員の3人について、常勤的に勤めることが可能になるよう人に選し、財政的に措置も行う。
22. 今回の補正予算により新たに上積みされる基金について、人件費に充て、交付要綱で手厚くする。また、今後3年程度で国の支援のあり方や相談員の配置・待遇等についても検討を行う。

お 知 ら せ Part 1

県内会員生協の総代会開催日程と会場

生協名	回数	開催日	時間	場所
本花滻生協	第60回	5/10(日)	9:30~	花滻コミュニティーハウス
岡山大学生協	第15回	5/27(水)	18:00~20:00	一般教育棟B-12
グリーンコープおかやま	第7期	6/5(金)	10:00~12:00	県立図書館多目的ホール
倉敷医療生協	第55回	6/7(日)	10:30~14:30	倉敷アイビースクエア(フローラルコート)
県学校生協	第61期	6/12(金)	15:30~17:00	ピュアリティまきび
三井造船生協	第59回	6/14(日)	9:30~12:00	すこやかセンター(奥玉)
おかやまコープ	第57期	6/16(火)	10:00~12:00	岡山コンベンションセンター3Fホール
津山医療生協	第30回	6/20(土)	13:30~16:30	グリーンヒルズ津山・リージョンセンター(ヘンタホール)
岡山医療生協	第60回	6/21(日)	10:00~15:00	岡山コンベンションセンター
県労済生協	第52回	7/30(木)	13:00~16:00	ホテルグランヴィア岡山
セイレイ工業生協	第45回	8月中(未定)	17:00~	セイレイ工業会議室

第28回市民団体による“岡山県民平和のつどい”

とき 7月4日(土)13時~15時(オープニング12:55~ 歌と民謡 岡山大学うたう会「みみんこ」)

ところ おかやまコープ・オルガホール — ロビーでは、パネル展示「原爆と人間展」・ユニセフグッズも

参加費 500円(高校生以上) 託児有り 1歳6ヶ月以上のお子様(事前予約一人100円)

※チケットは、おかやまコープ各店舗・事業所、岡山合唱団、県婦人協議会、医療生協、県生協連などでお求めください。

テーマ Peace Peace Peace 2009

『核兵器のない世界を! 夏の雲は忘れない!』

ゲスト 日色 ともゑさん(女優)…私の宝石箱は、平和を願う人々の愛や祈りでいっぱい!



公 告

会員生活協同組合 各位

岡山県生活協同組合連合会

会長理事 安場 靖 (公印省略)

岡山県生協連第50回通常総会の開催について

岡山県生活協同組合連合会定款第45条に基づいて、岡山県生活協同組合連合会第50回通常総会を下記の通り開催します。

記

1. 開催日時: 2009年6月24日(水) 10:30~12:30

2. 開催会場: オルガホール(岡山市北区奉還町一丁目7-7)

3. 議題 第1号議案 2008年度活動報告承認の件

第2号議案 2008年度決算および剰余金処分案承認の件 監査報告

第3号議案 2009年度活動方針および予算の件 (県生協連設立50周年記念関連を含む)

第4号議案 役員報酬決定の件

第5号議案 定款等一部改正の件

第6号議案 役員選任の件

第50回通常総会 決議採択の件

4. 代議員 総会代議員選出基準にもとづいて、別紙にて会員生協にお知らせします。

以上

会員生協トピックス

おかやまコープ

ユニセフ募金

おかやまコープでは、国際的な助け合いの活動としてユニセフを応援する活動に取り組んでいます。

全国一斉に行われる「ハンド・イン・ハンド」（街頭募金：12/23実施）では、子どもたちも一緒に150人をこえるボランティアの協力があり、また、お年玉募金にも募金とともに心温まるメッセージが寄せられました。

2008年度募金総額669万6970円（緊急募金を含む）は（財）日本ユニセフ協会へ届け、150以上の国と地域の子どもたちの命を守り、生活の向上のために使われます。
子どもたちもハンド イン ハンド→



「ピースアクション2009キックオフ集会＆3・1ビキニ集会」におかやまコープから7名が参加しました。



おかやまコープの報告↑

全国の平和の活動を交流し、取り組みの具体化に役立てることを目的に開催された「ピースアクションキックオフ集会」（2/28東京）に23生協70名が参加しました。

伊藤千尋さん（朝日新聞記者／ジャーナリスト）を講師に「活憲の時代－世界から見た9条」と題する学習講演では、日本の憲法9条は日本だけのものに留まらず世界のものになっているというお話があり参加者は興味深く耳をかたむけました。

ビキニ被災から55年目にあたる今年、核兵器のない世界への流れをさらに確かな力とするための出発点として開催された、「3・1ビキニデー企画

一焼津フィールドワーク」（3/1 静岡県焼津市）では、原水爆禁止運動の原点となったビキニ事件について学びました。

ビキニデー集会には全国から1600名の参加があり、リレートークではおかやまコープも登壇し、地域ですすめている平和の取り組みを発表しました。

三井造船生協

三井生協家庭会・福祉委員会が老人ホーム「和楽園」へ慰問



3月19日、家庭会福祉委員会が中心となって、老人ホーム「和楽園」へ訪問。昭和59年から続く訪問は今年で、25回目となります。

三井生協家庭会からは、平成桃太郎音頭やフラダンス、ハンドベル、エアーミstead線などを披露。老人ホームの皆さんに抹茶や桜餅も召し上がって頂き、最後はbingoゲームをして楽しいひとときを終了しました。



三井生協家庭会・福祉委員会が切手寄贈

3月2日（月）使用済み切手とコインを「日本キリスト教海外医療協力会」の窓口となる博愛会病院分院へ寄贈いたしました。福祉委員会の長谷川リーダーと家庭会岡本会長が分院を訪れ、更井院長へ手渡しました。金額は62,214円と切手7.4kgです。このJOCS協力会の活動は、この切手を換金して、開発途上国に医師や看護士を派遣する活動費に当てるものです。また、保健医療を学ぶ開発途上国の方々の奨学金にもなっています。

グリーンコープ生協おかやま
09年・春のGreenPartyを開催。

「厳しい社会・経済情勢ではありますが、食べものの安心・安全をしっかり守っていきましょう」と話をしながら、産直生鮮品の試食会も行いました。合計100名が参加しました。



県学校生協

2008年度3学期 「一人一品利用運動」結果ご報告

運動期間 08年1月20日～2月15日 結集金額の3%をユニセフ募金にすることで取り組んでいました。金額560万円
ユニセフへ募金額 17万円（税込）を日本ユニセフ協会岡山県支部（代表吉永紀明氏）へ持参いたしました。募金を手渡す本田専務理事・右(3月18日)



会員生協トピックス

倉敷医療生協

虹のバレンタイン行動

2月14日午後、倉敷駅頭で45人が参加し虹のバレンタイン行動を行いました。

行き交う500人にカードとチョコレートを渡し、後期高齢者署名など430筆の成果をあげました。いつもの年より人が多く、特に若い人が協力的でした。

浅口市訪問



浅口支部は2月24日、運営委員など8人が浅口市を訪問し、健康づくりで懇談しました。市からは3人参加。医療生協の活動を紹介。市からは特定健診の受診状況などの説明。

受診率の向上めざし協力していくことを確認し合いました。



みるみるうちに430筆の署名が…

岡山医療生協

第9回健康づくり学会(主催:日本生協連医療部会、後援:岡山県・岡山市)



3月7日~8日の2日間、岡山市民会館を中心に関催され全国から544人が参加しました。全国の71生協から111演題の健康づくりの取り組みが報告され、全国の経験から大いに学びあうことができました。

また、今回から新しく基調シンポジウムや公開講座を取り入れられました。「今、必要な子育て支援とは?」(村中由紀子山陽学園短期大学教授)の講座には一般参加もたくさんありました。

次回は2012年に開催を予定しています。



外来展示コーナーにはエコ川柳が人気です

子育て班の活動報告 エコチェックで生活改善

岡山医療生協では、毎年2月、3月に「エコ月間」を行っています。取り組みの内容は、川柳や標語の募集と展示、「エコチェック表」の実施(参加目標は1000人)です。

「エコチェック表」(岡山医療生協独自のチェック表)で今の自分がどれだけ環境にやさしい生活ができているのかチェックをし、できていないを見つけ、生活の改善をしようというものです。

今年度は、①マイバッグの推進、②マイ箸の推進、③部屋の設定温度は20度にしようという以上三点を提案しています。

エコ川柳と標語 2作 ・マイ箸も 今じゃ堂々 市民権 ・エコライフ もったいないを 合い言葉

県労済生協 「創立50周年」PR活動

岡山県労済生協は創立50周年を迎えます。

この記念事業の一環として、役職員(理事・監事含む)一体となりチラシ配布活動を行なっています。

現在、4回チラシ配布活動を行ない、合計約17,000枚のチラシを配布しました。



「保障設計セミナー」開催中!!

ムリ・ムダのない保障を見つけるお手伝いとして保障の見直しセミナー(公的年金制度・生命・医療保障の仕組み等)や、無料個別保障相談などを開催し、多くの方々にご参加いただいています。



講師に弁護士の宇都宮 健児 さんを迎えて

消費者月間記念講演会を開催!



日時：6月6日(土) 13:30～15:15

会場：岡山国際交流センター



サラ金・【消費者マニュアル】

消費者金融から

お金で
取次する方法



講演テーマ (仮) 「今、消費者のくらしは!貧困問題は! 社会システムの充実を考える!」

☆講演の前に、県消費生活センター佐藤秀樹所長より、県内相談事例等の報告があります。

主催：岡山県消費者団体連絡協議会 共催：NPO 法人消費者ネットおかやま
託児有り 1歳6ヶ月以上のお子様(事前予約) お問合せ：(TEL)086-221-4302

同会場にて、15:30より

NPO 法人消費者ネットおかやまの総会が開催されます

・・・消費者月間記念講演会にご参加の方は、ひきつづき総会にもご出席ください・・・

なお、総会に先立ち、消費者支援機構関西(内閣府認定の適格消費者団体)より、消費者団体訴訟制度に基づいて、3月4日に初めて和解成立した訴訟事案等について、お話しをうかがう予定です。

第7回 消費者被害なんでも相談会(無料)は

5月16日(土) 10時～15時

面談会場・・・きらめきプラザ 5階研修室

(岡山市北区南方二丁目13-1 旧国立病院)

電話・・・(086)-801-3303(当日限り)

NPO 消費者ネットおかやまは、消費者被害による消費者の「泣き寝入り」や悪質事業者の「やり得」を防ぎ、
消費者全体の利益を守るために、設立した特定非営利活動法人です。

NPO 消費者ネットおかやまには、弁護士、司法書士、消費生活アドバイザー、消費生活相談員、大学教授
など専門家の方々と県内の生協、消費者団体、福祉団体、婦人団体が参加しています。

会は、団体・個人を会員として、専門家や消費者で構成する理事会を中心に関運営されています。

会への加入は、どなたでも年会費の納入で可能です。●団体会員 年会費1口1万円 ●個人会員 年会費1口3千円

お問合せ先：NPO 法人消費者ネットおかやま事務局 (岡山県消費者団体連絡協議会気付)

TEL (086)-221-4302 Fax (086)-221-4343

